

事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称	施策I-6-3 空港・港湾の維持・整備
---------	------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	港湾空港課長 奥村 恭	電話番号	0852-22-5228
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	港湾計画事業		
目的	(1) 対象	港湾・海岸の施設利用者	
	(2) 意図	港湾機能の安全性、利便性に配慮し、効率的な港湾整備計画を立てる	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・港湾・海岸の施設利用者に対して、港湾機能の安全性、利便性に配慮した、港湾整備計画を作成する。 ・重要港湾の港湾計画策定にあたって、施設を利用する人の意見を聞くためにパブリックコメントの募集や地方港湾審議会を開催する。 ・調査依頼者（国）に港湾にかかるデータを迅速に提供するため、港湾統計調査員を委嘱し必要なデータを収集する。 ・重要港湾（浜田港・三隅港・西郷港）の港湾BCPを策定し、災害時における港湾機能の低下を最小限に抑制して、港湾機能を早期回復できるよう事前の取組みや発災後の対応等を取りまとめる。 		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	重要港湾（浜田港・三隅港・西郷港）の整備率	目標値	73.2	89.3	90.4	91.0	%
	式・定義	港湾整備の実施済延長／港湾整備の計画延長	取組目標値					
			実績値	62.7				
2	指標名	重要港湾（浜田港・三隅港・西郷港）のBCP策定率	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	%
	式・定義	BCP策定数／重要港湾の全BCP策定数	取組目標値					
			実績値	0.0				
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	1,020	1,452
うち一般財源 (千円)	0	432

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

<ul style="list-style-type: none"> ・浜田港の港湾計画改訂（平成29年度）に向け、H27年度から浜田港長期構想（素案）を作成し、H28年度に浜田港長期構想を策定する。 ・浜田港の物流・人流の活性化を図るため、H28年度に産学金官の64団体から組織する浜田港拠点化形成研究会を設立し、集貨対策、クルーズ客船誘致対策に取り組む。 ・重要港湾（浜田港・三隅港・西郷港）において、H27年度にBCP協議会を設立し、H28年度にBCP協議会のもとで港湾BCPを策定する。
--

6. 成果があったこと（改善されたこと）

<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年5月20日に産学金官の64団体から組織する「浜田港拠点化形成研究会」を設立し、集貨対策、クルーズ客船誘致対策に取り組む組織づくりを行った。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

<p>①困っている「状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜田港の埠頭が手狭なため、チップなど新規の貨物需要に対応できない状況。
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の浜田港港湾計画と実際の利用形態とで乖離が生じている。
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜田港港湾計画を改訂し、埠頭を拡大する必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

<ul style="list-style-type: none"> ・浜田港のふ頭用地不足の解消、更なる物流・人流の活性化に向けて、浜田港の将来像を明確にする長期構想を策定し、港湾計画を改訂する。
--

・課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）

--